

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設当時新人スタッフ研修で使用した基本介護を、令和6年7月より7ヶ月間かけスタッフがそれぞれの単元を担当し講師をすることにより、理念を共有した。			今後も毎月行われているカンファレンスの中で理念の共有を図る
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は積極的に交流していたが、コロナ禍ではほとんどできなくなり令和5年より徐々に再開しているもコロナ以前のような交流はできていない。	地元の町内会は、コロナ前に行われていたと町内会の事業ができていない、地域の希望もあり、町内の皆さんも参加できるやすらぎまつりを希望されていましたが、まだコロナ禍であり今年度は見送る事となった。		来年度は町内会の協力も仰ぎ、以前の規模でやすらぎまつりを開催予定。 今出来ていることを続けていく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議でご指摘ご提案いただいた件については参考にさせていただき活かさせていただいております。	コスモスとして様々な事柄に対して委員の皆様にご意見を求めると様々な意見を出すことができています。		今後目標達成の為に運営推進委員の皆様より、ご意見をいただき生かしていきます。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアマネは サービス担当者会議に参加し、管理者・ケアマネ・介護主任は市役所より依頼のあった講師をしている。また、様々な事業でもご指導やご協力をいただいております。	地域活動において包括支援センターと協力し実行していく事となる。今後の地域医療の観点からも、今の滝川市の実情に合わせた医療と介護の連携が必要になってくるのでは。		今後も様々な事で連携を図らせていただきます。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前はできていたがコロナ禍以降出入り制限の為施錠をしている。それ以外の身体拘束はしておりません。		A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	4月1日より、施錠の開錠を実施する。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止の研修は年に2回以上は行っております。しかしながら虐待の通報もあり虐待と思われる言動がある。今後は徹底していきます。出来ているとは思いますが現状に満足せず戒めも含めあまり高い評価でないほうが良いのでは。		A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修やカンファの中で、どの様な事が虐待を受けた気持ちになるかの理解し安心して生活ができるコスモスにする。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様のキーパーソンの状況が変わった時に、権利擁護が必要かの確認を行っている。			年に一度は研修の機会を設ける。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	相談申し込みの前にも当グループホームの考え等を伝え理解いただくと共に様々なご質問により理解していただいてからの申し込みとなる仕組みにしている。			説明には時間がかかりご家族様に不快な思いをさせないよう気を配りながら説明し納得を得る。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内の担当者の選任及び外部の相談所の通知を重要事項説明書にて説明している。		A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き、アプランや短期目標の要望確認時にご意見を求める。対面での説明を生かしていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コスモス会議を設置し毎月意見を聞く機会を設けている。職員親睦会でも意見提案できるようにしている。			現行の体制を維持し実行していく。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	従業員による処遇検討委員会を設置。毎年個人目標を立て自己評価と他者評価を行う。		A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現行の体制を維持し実行していく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な取り組みを行っているが、取り組みと生かしている、とには大きな溝がある。		A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後は効果的な方法の確立を行う。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者レベルでもスタッフレベルでも行っています。職員研修旅行も行っています。			今後も様々な交流を行ったり、連携を行っていく。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護は【お世話をする】ことではない事の研修を行っている。利用者様ができる事の手伝いも盛んにしていただいている。			今後も様々な方法で利用者様の生きがい作りのサポートをする。

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの美容院に行く、昔からの友達に面会に来るなどをしていましたがコロナ禍でできていない時期が長年あったが徐々に再開してきている。	ご本人やご家族様が望む場合は馴染みの美容院に行ったり、徐々に馴染みの方の面会の再開を行うこととなる。 友人の面会も増やすとよい。 手紙や写真による馴染みの関係の継続も大切。 馴染みだったことが馴染みでなくなることもあるので注意が必要。		今後も希望の実現をサポートする。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、利用者様の希望を聞きご家族様にフィードバックし、ご家族様の要望を聞き、介護目標を設定し短期目標を決め実行している。			今以上に、希望の聞き取り方の向上。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記の短期目標をスタッフで共有し実行し、担当者やケアマネがモニタリングしている。	スタッフが全利用者様の目標を把握しきれていない部分がある。 介護目標を作るのが目的ではなく活かすことが大切。 3ヵ月同じ目標はあり得ない。	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	より一層チームケアを意識する。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様が何を言っ(何をし)どの様に対応したかをタブレットで記録し共有し場合によっては計画に変更を行う。		A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の為になっているかを意識し対応する。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な働きかけを行っているが、まだまだ充分と言えない。	その方に合わせた多機能化が必要である。 様々なことが出来ている。 そもそも多機能って何を指しているのか。		ニーズの把握に重点を置く。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な所と連携を取り、地域活動を行っている。	コスモスの活動が地域資源になっており、地域参加に繋がっている。 人材育成にも尽力している。		今後も地域づくりの基礎作りを行っていく。

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当事業所で同行する様にし、連携させていただいている。			今後も希望に応じ支援する。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	情報交換はできている。退院時の調整会議の実施をお願いしている。		●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も継続する。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居相談時から説明させていただき同意を得ています。重度化や終末期には医師より説明していただき、事業所からでもできることの説明をし同意を得ています。		●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も行っていく。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修を実施し知識があつたりマニュアル等は準備しているが、実践できるかには不安がある。			実践できる様にしていく。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署・市役所との連携、地域の事業所や地域との連携を取っている。	上手くできない時の覚悟やシュミレーションも必要。 他の事業所に被害が出た時の避難所としての役割にも期待したい。	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も災害に対しては地域のご協力を得ながら連携していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修やカンファレンスを通じ重要性の共有を行っている。しかしながら理解していても地が出てしまうスタッフもいる。		A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理解はしているので、実施できるようにチームでサポートする。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	まだまだ出来ているつもりである。			『その人らしく』を第一に考え対応する。

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	積極的に出来ているスタッフとできていないスタッフの差がある。		A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できていないスタッフにはできるようにアドバイスしていく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	元々の生活習慣から、あまり食べないやあまり飲まない利用者様にしつこく進めてしまう事あり。			医療機関との連携の充実を図る。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	元々の生活習慣もあり、強要もできずあまりできていないのが現状。		A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市で行っている歯科衛生士を活用しながら、利用者様の意識を変えていっていただく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄補助品の選定が個々で行っているが、おむつ外し等はできていない。		A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の負担にならない様に排泄環境の整備をしていく。
32	入浴を楽しむこと ができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を確認しながら行っている。			どのような入浴を希望しているか改めて確認する。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、自由に居間で横になれるように対応したり、夜間の訪室をできるだけ少なくし良眠確保している。			今後自由に居間のソファで横になれることがトラブルになる可能性もあるので注意が必要。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	できていないスタッフもいる。		A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の副作用等の把握の重要性を理解してもらおうと共に状態の変化の見極めができるようにする。
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	努めているがまだまだ出来ない部分がある。	役割を持って活動している利用者様もおり出来ている。 ちょっとした気づきを大切にしていけるのが良い。 今後利用者様の世代が変わり、役割が押し付けにならない工夫が必要。		担当者がしっかり利用者様の生きがい作りのサポートをしていく。

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ等感染症の蔓延により外出がなかなかできない状況が続いていたが、今後は徐々に外出の機会を増やしていく。	今後もコロナ禍の様な事も起こります。常に違うプランも必要です。以前のような外出試行を増やしていく。	今後徐々に外出の機会を増やしていく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様にもご理解をいただき使っていただいております。しかしながら『節約する』世代の方が多くなかなか買い物には繋がらない。		極一部の人のみ使っているのが現状。今後は買い物の動向も促す。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話をしたり手紙を出したりの環境は整っているが、何か送ってもたつた時のお礼の電話程度になっている。		年賀状などを出すお手伝いをする。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	そう思っていたけるように工夫はしているがスタッフ側の、『自己満足』になっている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者が利用者様のニーズの把握に努める。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	こちらとしては短期目標でそれに近づけているつもりだが、本人の思いとは違いがあると思う。		担当者が利用者様がどう暮らしたいかの把握に努める。
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に細かい生活歴の把握をさせていただく。その後もご本人の生活を拝見させていただきながら把握している		今後も心地よい生活の為に把握に努める。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	かなりできていると思うが、多方面(多方向)からの見方はできていない。	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の変化を観る力を養う。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	束縛をされない生活に重点を置き、その方のペースで生活していただいている。			今後も『その人らしく』に着目し一緒に時を過ごす。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様にもお願いし持参していただいている。		●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も継続していく。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	対応する態勢は整えているが、希望がない事が多い。	何もしたくない方への対応も行っていたきたい。 本人の希望は変わるので希望に合わせた対応をしてほしい。 豊かな生活の創造をスタッフも一緒に実践してほしい。		様々な事に興味を持っていただける対応を行う。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様に確認したり、ご本人の様子(状況)を観させていただきながら実施している。			こちらの都合でさせていない事にも目を向けていく。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	和やかに会話したり、休息したりができている。		●. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分を出せる場面(機会)を増やしていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でもあり、地域のお茶会とラジオ体操や花火大会のみの関りであり普段からの交流はない。	地域の方と一緒に畑や花壇を作っていくのも一案。 今まで通りの活動から始めていく。		今年は、利用者様と共に地域のごみ拾い活動をする。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 十分にできている B. ほぼできている ●. あまりできていない D. ほとんどできていない	努力はしているものの成果としては不十分。	コロナは社会のつながりも人々の気持ちまでもかえた。コロナ明けの活動は方法を変えていく必要がある。 利用者にもスタッフにも笑顔があふれさせよう。	A. 十分にできている ●. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も精進していく。